行深圓覺年代記 全

三八

古今外題 年代記目録

古流井上播磨掾 分

同門 井上市兵衛古文 分

同同 清水理兵衛 分

同 山本古作掾 角古文 分

同門 井松治古文 分

同同 松古文一中 分

同 文古路國古文 分

同 國本文治 分

同門 井阿波古文 分

同 宮治加賀掾 古文 分

同門 井 師田若狭 菊松慶 分

古今外題

年代記目録

古流井上播磨掾　今

同門　井上市兵衛　分

同　同　清水理兵衛　分

同　山本左作掾　角左衛門　分

同門　井松治左衛門　分

同　同　松左衛門　分

同　文吉路圓左衛門　分

同　同　文治　分

同門　井阿波左衛門　分

同　宮治加賀掾　左衛門　分

同門　井　師田若狭　菊松　麻麿　分

同仲勢仲吏門同仲右吏目

同道具庫右為　分

同書具又吳邦　分

尚流仲右款子吏　分

同仲茂出納掾庫　分

同明石誠後　分

同陳仲小和泉　分

尚流祖仲右統後掾　分

同　豊仲誠茶掾　分

同茶松仲右義右吏庫

同江戸巷仲肥茶掾庫

同江戸仲右仲勢右吏庫

新十二版

日なもり　二王のなかば
女龍　舟いくさ
二親　敬女者人
五天　金平氏同論
　　敬対のいくさ
　　ぎりんせいや
　　大友まさり
　　忍ぶ平右
　　少弐さまち
　　源平意のいくさ
　　出雲の利生記
　　二代の敬対
　　利屋物がたり
　　教光寺同論
　　うんぐん義物がたり
　　ちりぬ一代記
　　ちりぬ小関ちり
　　ちりぬ七きがたり
　　蒲御曹司東階哥
　　本多義冨士の牧ちり
　　日向ケ谷よ
　　大磯冠　紅葉くまの
　　三浦小栗軍記ちくべ

くすのきちはやの合戦　　ほうぜんのいこん
東大寺大仏名ぐんき　　作ぐ沐浴アせんぢん
三浦大介ようこの巻　　源氏十五段
五大力かさう　　ちひわらう
源氏東の門出　　上東院
松浦五帝たび日記　　角田川
小節ようもう　　天親ぼさつ
ものがたり　　ひこぎ平治
信教大師記　　王昭ぐん
ほうらせいりん　　源氏ほうらい三ッ物
三条小かじ　　女人往生記
久米せんにん　　ほしのあか九
初ぐのくこと　　天王ちひぐん中日
若光ちのてう　　ちぐ小ちまの
去のぐつま　　然井ちこうくの巻
さいき平し七百表ニ　　一心二河白ぞ
ドうりゆう　　ちちうつき
小ぐり判官　　さうかと王子よこ車
いよとぐ鹿てう　　こりん寺ぐ物うう
ちう九　　うしまを記
いろかの大ちん　　四十八ぐうんき
平親王ままうど　　花山法皇吹礼記
けさごゆん物がうり　　酒茶ぞうし
日吉ぐんきう人徳物記　　ぐう孫

大磯ちうしん其八記	小さらし物語
百人一首	おいろうば
一心五人玉	こぐうりめんそう
とかる大ざん	今川了俊
柿本人丸	大ぬ川くやう
西行物くるり	そめとのきさき
きび大ぢん	浄蔵也不八坂そう
さつま愛右	もうぐいくさ
中将姫	わしハさき
ゆげのどうきやう	菊まう小栗物語
え後羽我	阿[illegible]東大全
やまざけのこゝと	小そで[illegible]
そとをりひめ和光玉	三井寺きやうじよ
いざよひ物がたり	清乃ぢうるん竹力諍
敵うちそが	まやさんゑてう
小野道風かくぜうく	かうろしゑてう
てうきてんうへあり手	源頼家まうり物
神武帝閏正月	さくまの守ぢでのり
二尾ちう二尾ひと経浄	大原あんじう
三社のたくせん	すまてうきばふへ
ふいきそが	門出八しま
うら嶋たろ七世縁	中まう上人名号記
こよみ	蒲冠者鞠初
りんちよりひきへ松	よろは所

法華経草
天神御本地
世つきそう
其今はんど公号紀
其八其八今西紀
今西山帥弟秋
西施之ゆかり
太伝為書地之
教政弟乃高
けの世の流為ゑけ
伊勢ごせんぐう
八幡文和光白之
大乗天万宝之
歩宮山ひさひの宝
傾城紅日こと
冥東小六丹前姿
但天王雷神
金平浄ごくゆふり
三原名所さん
浄瑠璃小町
沙文東門の波明戸
三軍橋校の原
陰西八市射迷来
魔金義高東之
いろは物がたり
名所京塚物がたり
仁木義ひさんみん
女人部屋成佛紀
其八其八生橋
男女義橋
金仏洗生紀
世ぎ平義仏洗
其其義之ま
ふの高こ連理法
其其浦例宝
三井寺寺こま
大門秋波屋
大和屋ごゑく之紙
恋ひいろはようう
おなつ清十郎ごと義仏
法くし四巻
ちん其八市
末吾義仲
恋ひいハものろく
熊野検校高のごゆ
延喜帝秘曲八こ
高桜山吹ものさん
女まん祖の紅葉

江戸書行肥前掾　新古文集

享保十九甲寅の年江戸表ニ而鉄兵衛殿の間八若松并後掾と云名代まて芝居を興行せられ其後又辰松氏の芝居にても勤められしが元文年中小今の芝居を求め當請取然し書行肥前掾座原清正と新くにやらてまもと語らまてり當座新浄瑠璃乃外数

石橋山鎧重	義経新含状
増補日蓮記	新板市童物語

八幡左帝東海道　親鸞聖人絵伝

十五日　男女　太平記抜粋　泉三郎伊達同貫

聖徳太子獄人説

江戸行伊勢左史　伊左史

寶暦十一巳年　養蚕町辰松屋

弘五五書成終して出三月

屋ゑ[illegible]

の浄瑠りハ

三浦大仏紀物語　座本　説教　伊勢左史　出語　三味　宮浜市之丞

江戸寛暦介能座　元　元

寛暦十三未年大西義義後見

[illegible]

竹本千賀太夫同碑太夫下り

おもひ川
連名集 曽根崎揃伝

浄瑠璃元祖 竹本義太夫 筑後掾 義太夫事

大坂道頓堀にて芝居興行の始ハ

貞享二乙丑年の二月也宝永初の

上るり八世継それより[redacted]改度

ありし先師の遺風をうつされし古浄

瑠りにて佐近同三年より於

表より名を松門左衛門家歌より

新をのとく至誠さうて其

貞享一八

出世景清 是を松氏義太夫上るり作の元
初ろうり是が多々松門にて池ス

徳本大くしこ　ゑぐのはんちう記
しら浪のお地　源氏冷泉節
大塔宮鎧のおち　定家卿小倉色紙
天智天皇　ざんさん記
ちぎんてうじ　源氏十二段
文武五人男　松風村雨束帯鏡
女子差別のふじ　刀ゝゑ大雷記
今様柏原　大仏鉤十ふく一つい
数度判官高定あり　宮国いん死てう
忠やうか来さん生忌　かき田会津名所盃
大仏九日正月　よしつね選若女中い
新板こしらへ恍　子すの冬夢中語
頼朝伊豆日記　百日曽我
吉野忠信　義経東六法
源氏烏帽子折　本海道虎石
よとこい出世滝徳　浦島年代記
蝉丸　元禄十四年辛巳五月竹本義太夫
勅許受領後筑後掾藤原博教と号ス
曽我五人兄弟　酒呑どうじ枕言葉
大磯とらおさな物語　西鶴百人上らう
おはつ
徳兵衛　曽根崎心中　元禄十六癸未五月七日
作者　近松門左衛門
此中八箇四月十三日之見世上出語浄瑠璃の語初也
竹本氏古今の大あたりなり

源氏兼きうまくらし
おなさ 陸奥 心中重井筒

雪女五まい羽子いた
心中二まい繪そうし

用明天皇職人鑑　宝永二乙酉年三月　竹田出雲掾　竹本筑後掾元祖

傾城の反魂香　右之外後藤三段竹本掾
義太夫歌祭文初

けいせいたんぜん男
おなつ 清十郎 五十年忌歌念仏

おちよ 半兵衛 宵庚申
藤娘 蘆屋道満大内鑑

同日 夕月之上ヶ
碁盤太平記

義経将棊経
堀川波のつゝみ

おまん 源五兵衛 薩摩歌
おむめ 久米之介 心中万年草

丹波与作待夜の小室節
上すき 小市 中之月寺

当麻中将姫
新版歌祭文

当流小栗判官
日本西王母

今川了俊 源同
新天鼓

根元曽我
恋うつの手本

小野道風記
甲賀三郎

大原問答 ... のえへ
東山軍記

下関猫魔達
十二段長生島台

百合若大臣野守鏡
新一心二河白道

吉野都女楠
いまみやのしんぢう

双生隅田川
新板腰越状

けいせい三世相
はかた小女郎波枕

おさん 茂兵衛 大経師昔暦
お吉 与兵衛 女殺油地獄

抱將劔奈忠　　宮中氷朔日

武百番内延山嶋　　梅川　　ぬいと　　ぬ中天ぬ

夕青印波嶋門　　ぬ中天ぬ

ぬきさ　　ぬ家廣八ぬ

赤ぬ世の宮勅拔　正徳二壬辰三月四日

切丹波よさく　　改左文殆て嶽石中双節事

芳我ぬうう石慶　　ぬ内国うてう史

彩撰大嶽冠　　ぬきてん梅孤孝家

天神記　正徳三癸巳二月廿五日

大和左文初出発天拔山鶴ぬ玉徳

相模入石千疋大　　勝口　　よこ笛城　寄ぐらく　大和左文

菅原天皇耳義雨　　二人弾拔内探

持統天皇歌軍法

又八唐土　　三長三コ三十七ケ月勅来

毎八日本　　国性爺合戦　正徳五乙未年十月朔日

九仙山竹本領毋内直孔左文竹本文左文三浦義次三三

三股ぬ国政左文　竹本百左文国新波伊奈道拔周ぬ

稜八日本

義廣土　　国後日合戦　大キくの上ぶすくをり祖

芳根徳ケ中　二度目国年八月朔日

絵接三重帳子　　国年八月廿二日

聖德太子繪傳記　同年十月十六日　文安文遺記

山城寺之名木桜門松　享保三戊戌年正月二日　大和文史再出記

日本振袖初　同年二月廿二日

菅我會稽百山　同年七月十五日

日蓮上人紀　同年十月十二日　同十月廿

傾城酒呑童子　同年十月廿五日　[illegible]文禮出記

清水女房浪枕　同年十月廿日　國文史出記

若光寺雲供養　同年十二月十三日

本朝三國志　享保四己未年月十四日

女後寛平記　平家女護島　同年八月十二日

清水陸合戦　同年十月六日　出流文和文史ハ國文史三段　浄瑠璃三

國性爺合戦　二段目　享保五庚子年正月二日　九仙山教世　三段三ノ段浄瑠璃文二帝

井筒業平 河内通 出流り 左史 毎月 二度 左史三度交二帝 同年二月三日

双子湯田川 同年八月三日

日本武尊東遊 陸奥義左史再勤 同年十月六日

小子部治左衛 公中天網治 文左史又出発 同年十二月六日

桜津國史婦池 千年ノ変公流大和左史ノ亡國左史三度交二帝 享保六年丑二月十七日

女教池地獄 同年七月十五日 同七月廿

信濃川中治合戦 山[illegible] 同年八月三日

唐衣御今國性爺 弐左史出発 享保七年壬寅正月一日

浦治年代記 同年三月三日

公中亦庚申 同年六月廿二日

祇王祇女 佛御前 南軍 同年九月朔日 高冬義左史遁発

大塔宮護鎧 享保八年癸卯二月十[illegible]日

七

[illegible]月 [illegible]所 昔名花 同年十一月廿四日

関八州鼠塚 享保九年甲辰正月十五日 四月ニ国アリ

尚三月廿一日大坂中大火芝居焼亡 同月八日ハ俄芝居ヲ酒呑童子ト伝説大ニ相撲入ル十日ニ出勤ス

三國志大全 諸葛孔明 鼎軍談 同年七月十五日

右大坂鎧会実録 尚十月廿二日近松門左衛門

蛮奴雅物語 享保十年乙巳九月九日 和蘭ヲ文長崎

後鳥羽院怨塚 同年六月十七日 表ヲ文出来

大内裏大炎真鳥 同年九月十八日

氏長殺ヲ文大和ヲ文交ヲ文三ヲ文表ヲ文木ヲ動ム 明年午六月ヲ動ク 大炎天ヲ内通孫会実録

侍鄙平氏年く譚 享保十年丙午九月十三日 乃ち出ル 改ヲ文大和ヲ文三ヲ文表二所

敵討未刻の大敵 享保十年丁未正月十五日 赤穂ヲ黒軍談正月ニ国名

小野炭焼 源義経ヲ七小町 同年四月十八日

三荘左丈五人壊　同年八月朔日

工義奥富士日記　享保十三年戊申三月廿二日

加賀国條永合戦　同年五月九三日
初テ西面の少ゝ横へ出ス

尼御前田井渡出　享保十四年己酉二月十晋

大塔宮職遣　三文目　同年六月十八日

眉間尺象貢　同年八月朔日
当九十月永知紛表多三荘左丈

永吉名本井筒　同年十月廿五日

三浦大助紅梅鞨　享保五年庚戌二月十九日

信夫狭桧山　同年八月朔日

須磨弥次平瀬踏　同年十月十又日

国性爺合戦　三文目　享保十六年辛亥九月五日
天竺具賀縁芝居の義初テ幟り立ス

鬼一法眼三略巻　同年九月十二日

碇浦[illegible]之宮　後入道[illegible]治部左太夫二　後改二郎兵衛　人形相竹三右衛門　享保十七年壬子四月朔日

伊達染手綱　二段目　同年六月八日
添浄るり儀太夫右衛門

檀浦兜軍記　同年九月九日

大内裏大友真鳥　二段目　享保十八年癸丑二月朔日
当三月十五日大和与太夫死ス

左手記　紀吉太夫　車返合戦桜　同年四月八日
和泉太夫又出勤

今度大盛座七人形ニ出て当與月廿日芝居段大仕損
吉紀の弟子[illegible]と住てしれ[illegible]芝居之儀ニ付太夫より
上本座[illegible]法眼国脇派

梶久　杉山　元日今年越　同年十一月十五日
七吉太夫出勤

応神天皇八白幡　享保十九年甲寅二月朔日
政太夫義太夫と名ヲ改

河内通　同年六月八日

芦屋道満大内鑑　同年十月五日
三輪太夫出勤内匠太夫改

此時紀太夫武士太夫和泉太夫義太夫七太夫座元文字
勤今度与助年人又形の級ふくらく振ニ初蘆秋来ル与大内

甲賀三郎窟物語　享保廿年乙卯九月十四日

九

赤松圓心緣陣幕　享保十一年丙辰二月朔日

享保廿年乙卯十月廿五日文殊丈　祝義出張天神祀賀如恒
勅許文殊行年孫少掾後家喜敷　二條殿文殊

敵対禮褒歸　同年五月十二日

張九右丈廉奏亳　同年十月十三日

御不孫婚夜対　元文二年丁巳閏月廿八日
上孫孫播磨守孫賀右

大政入道公庫岬　同年十月十日廿月国忌
英張右丈出発

行年祭則松　元文三年戊午八月廿九日
雷　和雅右丈死ス

小栗判官車街道　同年八月十九日
英張右丈武右丈　右丈

切支丹盛衰記　元文四年己未四月十日
修右丈初ヲ出発

今川領猫魔館　元文五年庚申四月十日

將門冠合戦　同年七月朔日
七月国忌

茶百日　同年十月十日
切支丹禁令　近松門左衛門七回忌追善

伊藤流宣源氏譜　元文六年辛酉五月十四日

百合之丈紋之丈初ノ出

新宮氏宮物語　寛保元年酉五月十六日

氏若勤之元氏之丈作之丈百合之丈為之七之丈白氏

沙播磨振内西之丈紋之丈七之丈三筋交二筋不相勤

花房石江御記　寛保二年戌二月十四日

大冬内西之丈遠記

室町千年変　文政七之二月　巳月十七日

出張之丈氏之丈之作之丈三筋交三筋

男伊五郎今　同年七月二日

為之後ノ伊之丈出張

入鹿大臣自記御　寛保三年亥四月十六日

四月国ノ

丹羽氏系折栗　同年五月十八日

大内裏大炎天記　三月　同年十月十五日

改之丈初ノ出張ノ事

十月朱ノ

兒源氏尾中軍記　延享元年甲子三月十六日

為七月十五日播磨掾死ス行年

五十四歳

初ノ日ノ文世襲記　二月　同年十月十六日

御之丈出張ノ如ク之丈

日

功播磨掾逸話　氏之丈改之丈百合之丈桜之丈

作之丈後之丈紋之丈七之丈

出語　三筋交ノ事

八幡宮掛絵

軍法冨士見西行　延享元年三月十三日

隻桑浩花鑑　同年七月十六日
と文人形に帳子衣裳と云ヒ初ム十月開ク

摘昔噺　延享三年丙寅閏十月

佛法恭扇軍　同年五月四日　初日法
恭播磨掾三回忌追善

切狂言掾世三年忌出語左文武左文ツヒ改左文三絃
公中重井筒　文三帝人形出ス八吉田文三帝人
山本伝平治

菅原傳授手習鑑　同年八月廿一日

傾城松軍談　延享四年丁卯八月廿三日
文字左文後の左文出ス後左文
名代

義経千本桜　同年十月十六日

假名手本忠臣藏　寛延元年戊辰八月十四日
当十月武左文治左文百合左文
左文武左文

芦屋道満大内鑑　寛延二年己巳十月廿二日
十月国左
当冬大隅掾再勤内匠左文又平次左文出ス八左文武左文
出ス左衆改左文弾左文伝左文上総左文又出ス文字左文
追善

栗島稽古入雛歌　寛延三年庚午四月十八日
切出語左文大隅掾ヒ千賀左文　三絃左文了

双堞々曲輪日記

同年七月廿八日
当家二度落城家来死ス

同年十月廿八日
当家上総ヲ攻死ス

源平布引滝

寛延三年庚午七月十五日
九仙山大隅様ヲ十郎ヲ攻三度敗北ス

国性爺合戦 二段目

同年十月廿四日
今ノ仗ヲ攻初ニ出ル

文武世継梅

寛延年辛未二月朔日
六月国ヲ

慈安房染分ノ縞

道成ヲ示仕平三テ高文三郎大ヲ吉田文治留ヲ
孟切様通 人数ヲ 同玄[illegible]

同年十月十七日
大隅様大加様ヲ名ス

没行者大峯様

名筆傾城濱

宝暦三年癸酉二月廿三日

世話云漢楚軍談

同年五月十八日

歌舞伎襲藤 二段目
赤浄ヲ川中浄三段目ヲ

同年七月十六日

伊達藤五十四郎

同年十月十六日
ヲヲ文陸奥ヲ攻出ル

宝暦三年癸酉五月五日

忠義雅名歌猪鹿

改ヲ文藤ヲ文家紋ヲ初出ル
[illegible]ヲ文ヲ

宝暦四年甲戌二月三日二月

菖蒲茶採法

大和椋上京 陸奥左文遥元伝の左文

小池但馬陳門平　同年四月十七日

郭公書始　三度目　同年七月十六日

伝法左文遥元

小野道風書柳硯　同年十月三日

陳左文郭左文初テ出元

宝暦五年乙亥七月十六日

茶相撲入ル

大和椋改京

後庭涼採元浦

柏子廟海苗祝合

同年十月十六日

後年志元麦採

左文郭元初左文初出元

崇徳院讃岐傳記　宝暦六年丙子二月朔日

御左文上京 左文伊左文元

冠一法眼三畧奏　二度目　同年六月朔日

播磨椋十三回忌遥元

男色五虎会　三度目　同年八月二日

改左文上京

平惟茂凱陣紀果　同年十月十五日

千切左文出元十月国元

宝暦七年丑二月朔日

姫小松子日の松

改左文衣冠三位浪花出方

宝暦八年戊寅三月十二日

歌対宗牌　二編

陸奥國武勇岡谷　同年八月十九日

日高川入相紀王　宝暦九年己卯二月一日

極楽寺殿　宝暦十年庚辰七月廿日

由良湊千束長者　宝暦十年己巳五月十六日

安倍清明松言葉　同年

古戦場陸奥　宝暦十年己巳十月廿日

以長竹外伝左之中左之三陸大西義義人歌　吉里文三郎
其外吉田門弟江戸住人　吉田文吾
左之通下ル

陸奥国　宝暦十年己巳三月廿日

奥列女達原　同年九月十日

以長竹外春右之住人左之通

初日山城国吉里塚　宝暦十三年癸酉月十吉

後日天竺徳兵衛　同年

以文元祖竹外流後孫又十郎長竹外大和孫
西座海道ノ分流也上ル　紀左之出語本動ム

尚流豊作祈願の歌 [illegible]

大坂道新橋にて芝居興行の初発を

元禄十二年の頃浅井上宗源所なれの元

祝を[illegible]の浄瑠璃と流れ来る頃城信内

子見彩色の初め之来歌謡紀州南紀にて

も芝居と興行せしを後元禄十五年壬午

年より長崎にて芝居と称する事初り

乃彩浄瑠璃の定型と称し集む

茶摘歌十二月

切り中流の玉の井

ちりぐんこーど

井筒屋源六長者を晒

彩云庫築しき

伝左妻女しるし

彩板作こまたぐミ

女出田[illegible]

今度金毒ほ名がく

彩百人一首

ちんぎりせき

坂上田村麻

今川まこかるる

熊谷三つ子踏

いろは姫千丈流

久いせいぶーどざけ

けいせいこしぢの道　彩板三千ゟ松女
紀三井ちゑてう　孫とめてう
ゆ〻我三歳作　けいせいてしぢ園
七まきゝ　吾妻ゑてう　横長て孫の松
男ゑかゑ作　新姉　梅田ゑ中
ゆ、せい千日造　型原ちゑ舎刊新
新日向げ清　清ゆ〻古今序
博補女神くゝ　新板松ゑ七清おち
新分書りんゆ〻　人ゟ形ゑ清ゆ〻
ちんてゝゆめゝ　三株ゑ文ゆんがのこゝ
ちんのちゝ文いちゑ松　りんきゝ〻末の松山
笠屋三勝北五年忌　冨仁新玉さら錦
歌討鄙伎稿　春深清つ茶花初宿
伊中意中乃　作今中山ゟるきい
我光新話用論　りん久然茶宮
女鶴山ちいてん　小田原氏令山吹
新ゆ〻ちゑ文乃　ゆゝ〻ゆ〻や　浅の赤ゝちゝ
伊中九勝也現松　乗安城さく生い
八百屋お七寄ちん　八ちんゆ〻東　初さゝ
傾城くせんや　仁濃天ゑ方せい車
鬼薬　義経義経　小あつゝ花ゝつが
ゆくせい三変ゝさ　沸茶ゝ安ふゝ
ゆくゆめ博松　吉野太夫錦きせ女
能原岩我玉仏平曲　久智天ゑちゝ〻んの秋

後金尼於軍　花山院於ふる
甲陽軍鑑今移すべ　照日茶於姿
西行法師黒漆樣　色とのゐ茶なえ云初
日の年月知ゝと逃て方へ　逃へし此次ゝ初日年月恍

孫会三代記　初日　享保三年戊　成正月二日

今年を支ゝ上巳ゝ水　後衣を勝と交ゝ
此兵八年世を支万を支久を支ゝ　勤むる

傾城吉原すゝめ　同年八月朔日　十月朔日

今称賢女ゝ多遊　同年十月十五日

義経彩ゝ鑑　享保四年己亥正月九日

神功皇后三カ人せゝ　同年十月十九日　菊秋泉民謡　行

紫平菅丸ゝ　同年十月朔日

法花八幡唐士船　同五年庚寅正月二日

冨仁親王漆塗　同年六月十三日　二文目

日本傾切始　同年九月三日

三條卿薨　享保六年辛丑正月廿七日

伏見常盤井物語　同年五月十六日　七月同之

吳越軍船出異墓　同年九月十日

大友主子壬戌龍　同七年壬寅正月二日

公中二ツ腹帯　同年四月六日　高麗秋保ノ紀氏ノ

東山厳室禅合戦　同年十月朔日

玄宗皇帝行幸の儀　享保八年癸卯正月廿日　四月出語を文上皇振

祇園祭礼　同年五月六日

傾城無間塔　同年七月十五日

日本五山達僧等供養　同年十月三日　三條左大臣加ヲ出光門院ヲ

頼政遠忌之　享保九年甲辰二月一日　上帝　保元之乱ヲ文武ノ内ニ勤ム　四月同之

為三月廿日大坂中大大芝居ニ於ケル　四月廿三日公儀

の芝居ヲ達僧供養　文ノ文ヲ振新地ヲ

六月十三日の建仁寺供養　北政所遊花堂
[illegible]の芝居　公家ハ[illegible]ヶ[illegible]ヶ[illegible]の間
秋中伊勢・立蔵芝居お勤九月下旬小太郎・左
内彩の芝居ゆゑ乃外紙

女歩九　　享保九年甲辰十月十六日

切ニ若衆万石通　同十年乙巳正月二日
[illegible]より女歩九三度目を

南小軍問答　同年二月三日

身替弓張月　同年五月六日
和泉ゑ丈ゑ丈初テ出る

大佛殿万代礎　同年十月二日
[illegible]

曽我祐九帳　同十年丙午二月朔日
彩ゑ丈初テ出る

小條時頼記　同年四月八日
来ル未正月開アリ

切ニ雪乃旅ゑ丈上聖徳ワキ和泉ゑ丈三法孔沢
[illegible]
九八方中村[illegible]三[illegible]氏[illegible]ゑ世ゑ丈ゑ丈
三輪ゑ丈木相勤作者西沢一風　並木宗助　安田蛙文

清和源氏平五旅　享保十年丁未二月十五日
四段目　ゑ丈ワキ三法ゑ丈ワレ不ゑ丈

摂津国長柄人柱　同年八月十五日

切芦苅出給　左文上壁板出雲人形小三寸
ワキ和泉左文三後　表八寸

尊氏将軍代盗　享保十三年戌申二月朔日

南北十三港　同年五月十五日
当秋冬素戔嗚行法和泉氏尚表紙長柄人住

後三年奥州軍記　享保十四年己酉正月二日

義家秀衡系図　同年九月十八日　同ろ
但出法左文上壁板ワキ和泉左文三後　竹伏義家

蒲冠者義戸合戦　同十五年庚戌正月廿日
但出ろ　太三日

女相撲特山　同年五月六日
但出ろ　太三日

楠正成軍法実録　同年八月一日
和田七人形眼のくくくくと仕初

源家七代系　同十六年辛亥正月二日
但女丹右出法左文上壁板ワキ和泉左文三後竹伏義家

和泉国浮気沼池　同年四月二日

酒呑童子桜の葉　同年六月一日
同の初出法左文左近ワキ右近三後壁伏文八寸

赤松伊豆守傳死　同年十月十六日
今谷天皇御三方の主人初て懺悔を上人
覺月北日本文本　後武出語蓬葉山　ワキ和泉守文
勅許文仍然赤松伊豆守重裏　文武ワキ
三位　竹内右兵衛
八百屋お七哀傳説　寛保元年二月　寛保元年十月九日
薩摩守三代死三月五日　侍従文初て出座

今様返魂香　同年五月七日
五月雨五

待賢門夜軍　同年九月十日
尚冬和泉守文三輪文退座

赤穂浪士忠信　寛保十八年癸巳三月二日
要本文初て出座　身芝居の表紙物語

切り和天神死　紀右近ワキ出座文　文武赤根已溪本文
おつる人形　後井小三郎　三位伴次郎四郎

孫兵衛事実録　同年四月十六日
伊文文出座井塩

芳冷人吾妻雛形　同年七月十六日

切忠臣金短冊　同年十月一日
不文文　内文文ト　妻文八

小條時頼死　寛保元年申寅　同年二月
京都の床ノ横床ニ

切雪乃浪　文武ワキ　文武ワキ　文武ワキ
出座　後武　孔友井小三郎　同小八郎　千勇四郎

勇我昔見基　同年六月一日
於名主江戸口行

形須与市西海規　同年八月十三日
為名代名主遠免

南蠻渡後首貫　享保七年卯二月七日

法華源氏十五段　同年二月十二日
拾弐名主　越方拾弐名主　江湊名主

万屋仙六三代今衣　同年五月六日

苅宣乗門築宗輯　同年八月十六日
弐名主　初名主免

和田合戦女舞鶴　享保十年丙辰三月四日

安珍宗任松浦登　元文二年己正月十五日

金閣双級巴　同年七月廿一日
和作名主　初名主免

義　蟬丸
傾城豆問詰　同年七月十日十郎国重
来年正月二日

冊生山田春海歌　元文二年戊午四月八日

右の浄瑠璃ハ元禄年間ニ作ル六ツ方
弓板浦新地ハ和田合戦と八百屋お七恋緋桜と

勅ゟ一内小菅谷欣ゟ訴遠之長ゟ七月
十五日ゟ又丹生の山田と云勅ゟ

彩色流弐出給 右之文織方根尾淀右之文
弱右之文三度 竹沢左四郎

菖蒲谷堂中極井戸 同年十月八日
条坊西八京 要右之文死仁

奥羽秀衡有供養 元文四年己未二月一日
依後右之文ゟ発

建仁寺供養 同年五月六日
陵右之文流刑

法成寺参詣 同年八月七日
当冬増ゟ和田合戦女房

鶴山姫捨松 元亨五年庚申二月六日
依後右之文遠流

本田義光日女遊 同年四月十日七月廿日
杣右之文出発

武烈天皇儀 同年九月十日
支字右之文ゟ発
依後の人所ゟ出ゟ

寺梅擇食盛 二月後半
二月後半ゟ後三年三度目と 同年五月廿一日

播州四屋浦 同年七月十八日
内右之文後宮右之文と変名仁

田村麿北征合戦 同年九月十日
内五右之文再勅

[illegible]

百合雅高蕨軍記　寛保二年壬寅三月四日

切文伝八景出語　[illegible]文字なし　三法地獄ハ帝

通成寺現立縁　同年八月十日
[illegible]

[illegible]金大系圖　同年十月二日
[illegible]

風俗太平記　寛保三年癸卯三月四日
四月国[illegible]

久米仙人吉野桜　同年八月朔日

潤色江戸紫　延享元年甲子四月二日

[illegible]伝紀伝心旭車　同年九月十日
[illegible]

[illegible]衣波鑑　同年十二月二日

[illegible]記八系　延享二年乙丑三月朔日

[illegible]浦大仏教[illegible]礎　同年五月四日
陸奥[illegible]

浦洲左帝倭物語 同年八月五日 十月同

小條時頼記 三月 延享二年 廿二月三日

式三番三ツ勤ム伊勢左主殺

切言の辰出雲鐵砲ヲ携ワキ内匠名改上毋撮三紀

左文元世代平五ヲ出家人形小帝内小帝茶行茶九帝

酒呑童子出生記 延享三年 閏五月六日

高秋系ノ鐵ヲ振一世代久米仙合助

花代菊流浪 同年十月三日

裾重紅梅服 延享四年 卯二月十三日

上絃左文出孔絞左文

万戸將軍唐土日記 同年三月四日

猪左文初出発文賢文字

左文巡産

悪源太義治合戦 同年七月十五日

四段目三操踊ヲ仕初人形方ヲ拵ヲ行

宮藤出入湊 延享五年戊辰月二日

外左文出発陸奥奏巡産

東鑑御狩巻 同年七月五日十月同

第十月左文元博元世代勤東鑑ト悪源太

桜咲盃楊供養 寛延元年辰十月四日

門奥代左文 百合左文交左文巧ヲ左文出産

物語論文ノ上原北三代左文元左文出左文小巡産

尚之家改り出船の之支氏を支流を支伊勢を支桜を支
百余人流を支の内を支ホ
ハ重能源氏滅亡 寛延二年己巳三月廿六日
茶菊和歌彩紋源氏
切に様大踊いせもろこし茶や掛あんどう童踊の仕組
大もしの統内公三月十八日十九日の之廿日に御能とも
又日の間出来能出来無之分及ひ熱敬者中の御武家方
十帖
源氏物ぐさ之部 同年五月四日
弱太夫紋ア流八伊勢之支紋ア紋
為九月廿三日ハ之支ス
勅祈更祐藤おか様義家勢改祝式に出船ヲ勤ム
切にし 追善取之支出語 来ル三月十八日より
柳川彩七 夏楓連理枕 寛延三年 横六月終り
和田合戦女舞台 二度目 同年八月七日
為之支の太之支二名改和ヲ可八条出張
玉藻前戦扶 寛延四年 未正月十五日
浪花変事之事 同年四月廿五日
六月国之
頼政扇之事 三度目 同年七月十九日
水探切に踊

日蓮聖人御法海　同年十月十日
百合を送る

一谷嫩軍記　宝暦元年辛未三月廿日
以前出勤の元　八重を送る附を送る名改

並木宗輔名残作　節分豆を送る　若を送る　後を送る　絵の巻を送る
未申の盆初三踊　と変じ出る

倭俳名在原系図　宝暦二年壬申三月七日
太祢を送る　志賀を送る　七夕を送る　絵を送る

雄信勅命塔　宝暦三年癸酉七月廿八日

苅萱桑門筑紫轢　同年十月初め
二変目十七を送る　出る絵の巻を送る　巻を送る

相馬太郎文治　宝暦四年甲戌二月廿一日
二月国芳

義経腰越状　同年七月十九日
切　釜湖双級巴　二変目

天智天皇苅穂菴　同年十二月十五日
歌を送る　廻を送る

三国小女郎曙揚　宝暦五年乙亥四月廿一日

双蝶長柄杓　同年七月七日
横踊盆秋増訳三年興行軍記

後三年奥州軍記　同年十月朔日　贈太政大臣

義仲勲功記　寿永六年壬子三月十日十月　同

切丸菊松　長童夜叉小八郎

甲斐源氏橘軍配　同年同十月朔日　流清左衛門

寫儘足利涂　寿永三年甲申正月十六日

義九年奥州合戦　同年三月十日

祇園祭礼信仰起　同年十二月十九日

芦源氏常家　寿永九年庚寅二月三日

雑波丸金鶏　同年五月十四日

祇園女御九重御　寿永四年乙酉十月十日

岩姫松　孟　寿永二年癸巳正月廿日

人丸萬歳臺　同年九月十日

三好長慶軍談　寿永二年甲午二月廿日

洛陽ひさご念佛　宝暦十三年霜天

和歌書新　明和二乙酉二月 肥前　鵠夏之八至夏仲段之定

是より新板げらん并夏三傳人び

形出来順〻に記しのせ候

寶暦十三癸未年十月吉日

書林　大阪三丁目山本新五　王泉堂　加賀森次郎

板元　下根町壱丁目かし　松本屋助七